

目 次

まえがき

第1章 日本社会の変化と職業 ————— 1

I	職業の語義と種類	1
1	職業の語義	1
2	職業の種類	4
II	産業構造の変化と職業	6
1	第Ⅰ期：戦後の混乱から復興まで（1945年から1960年頃）	6
2	第Ⅱ期：高度成長の時代（1960年から1975年頃）	7
3	第Ⅲ期：安定成長（Japan As No.1）の時代（1975年から1990年頃）	8
4	第Ⅳ期：非正規雇用労働者の増加（1990年から2005年頃まで）	9
5	第Ⅴ期：IoTとAIの時代（2005年から2020年頃）	11
III	組織社会の職業の特徴	13
1	労働集約型職業中心の時代	13
2	知識集約型職業中心の時代	15
3	組織社会の職業	17

第2章 キャリア開発と職業指導 ————— 23

I	キャリア開発と職業指導	23
II	職業指導とは	28
III	職業指導の指導領域	31
1	家庭での職業指導	31
2	学校での職業指導	32
3	職場での職業指導	36

4	公共所職業安定所（ハローワーク）と その他の公的機関での職業指導	37
5	その他の機関での職業指導	38
IV	職業指導における職業相談の役割	39
1	職業指導	39
2	職業相談（キャリアガイダンス&カウンセリング）	39
3	進路相談（キャリアカウンセリング）	40

第3章 キャリア開発と職業適性 ————— 43

I	職業適性とその分類	43
1	職業適性とは	43
2	特性因子理論	43
3	職業的（キャリア）発達理論	44
4	スーパーの職業適合性理論	45
5	今のキャリア教育の基盤となるスーパーの職業適合性理論	47
II	職業適性に関する検査	47
1	厚生労働省編一般職業適性検査	48
2	職業興味検査（レディネステスト）	51
III	適性検査使用上の留意点	54

第4章 学校におけるキャリア開発と支援 ————— 57

I	学校から仕事の世界へのキャリア支援	57
II	小学校・中学校（義務教育）におけるキャリア開発と支援	60
1	義務教育学校におけるキャリア開発と支援	60
2	2017年改訂学習指導要領の趣旨・ポイント	61
3	小学校におけるキャリア開発と支援	62
4	中学校におけるキャリア開発と支援	64
5	今後の小中学校（義務教育）におけるキャリア開発と支援	66

III	高等学校におけるキャリア開発と支援	68
	1 商業系学科におけるキャリア開発と支援	68
	2 工業系学科におけるキャリア開発と支援	75
	3 進路保障とキャリア支援	78
IV	専門学校におけるキャリア開発と支援	82
	1 専門学校教育の特徴とキャリア教育	82
	2 専門学校におけるキャリア教育の実践	86
V	大学におけるキャリア開発と支援	91
	1 大学におけるキャリア教育の始まり	91
	2 大学におけるキャリア教育の事例	94
	3 大学におけるキャリア教育の今後と課題	98
VI	大学卒業後のキャリア開発と支援	98
	1 新卒者、既卒者と第二新卒者	99
	2 学卒後のキャリア開発と支援事例：A学部B学部のケース	103
	3 学卒後のキャリア開発と支援における提案と課題	108
VII	雇用に関する権利と義務	108
	1 採用内定をめぐる問題	109
	2 賃金や労働条件に関わる問題	110
	3 社会保障関係	111
第5章 世界のキャリア開発と支援		117
I	ヨーロッパのキャリア教育・支援	117
	1 ヨーロッパ社会の変化	117
	2 キャリア教育とキャリアガイダンス・カウンセリング	120
	3 キャリア教育	121
	4 リスクの高い若者への取り組み	123
	5 ヨーロッパのキャリア教育・支援の今後の課題	128
II	アメリカ合衆国のキャリア開発と支援	129
	1 アメリカ教育の現状	129

2	職業への移行支援の現状	132
3	ケンタッキー州の事例	135
4	カリフォルニア州の事例	137
5	リスクの高い若者への支援	141
Ⅲ	中国のキャリア開発と支援	142
1	キャリア教育の政策動向	143
2	中等職業学校におけるキャリア教育のカリキュラム改革	144
3	天津市の事例：天津市D工業学校	148
	巻末資料	151
	索引	169